

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

| | |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究課題名 | 尾側膵癌に対する腹腔鏡下膵体尾部切除術の成績 |
| 研究責任者 | 肝胆膵外科 伊良部真一郎 |
| 研究実施体制 | 当院における単施設での後向き研究です |
| 研究期間 | 臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025年3月31日 |
| 対象者 | 2019年1月から2023年12月までの間に聖隷浜松病院肝胆膵外科にて膵体部癌または膵尾部癌の診断で尾側膵切除術を施行した患者さん。 |
| 研究の意義・目的 | 従来、腹腔鏡下膵切除は良性および境界悪性症例に限られていたが、近年膵癌に対しても普及してきています。低侵襲であり術中出血量や術後在院日数、術後合併症などの点で優れているとの報告があるものの、従来の開腹手術と比較した術後再発率や生存率などの長期成績は明らかではありません。当院で過去に尾側膵癌に対し施行された開腹手術と腹腔鏡下膵体尾部切除術の長期成績を比較し、安全性と有用性を評価します。 |
| 研究の方法 | 対象患者さんについて、診療録から以下の項目の調査を行います。 手術時年齢、性別、診断(進行度、切除可能性分類)、術前化学療法の有無とレジメン、術式、治療担当者、手術時間、出血量、術後合併症、術後入院期間、術後在院死亡 病理結果、術後治療の有無と内容、再発の有無、再発部位、無再発生存期間、術後全生存期間 |
| 個人情報の取扱い | 本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 個人情報開示に係る手続き | 個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。 |
| 資料の閲覧について | ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 問い合わせ窓口 | 聖隷浜松病院 肝胆膵外科 (氏名) 伊良部 真一郎 TEL:053-474-2222(代表) 外科外来 9:00~17:00 平日 |